



杉本 和彰 議員

観光による まちづくり

問 観光を生かし交流人口の増加を目指すために文化・歴史の町として観光の推進施策について考えをお聞きます。また働く場の創造として観光の三大要素、(見る、買う、食べる)の今後の施策を伺う。

答 (町長) 新たな観光づくり等具体的実践は、これからである。働く場として、雇用再生特別基金事業、観光ルート開発事業、観光PR事業に力を注ぐ。

問 民家村、船山古墳近辺は、多額の税金を使い素晴らしい景観である。本気で頑張る気があるのか。



防災対策『江栗排水機場』(3月完成)

観光面での 景観整備について

答 (町長) 管理するにも金がいる。そこで収益を得る。そうした取り組みが必要である。新幹線が来るためには何かをしたい。

問 防災対策、景観とあわせて研究課題として研究されているのか。①道路や公園などの清掃や花、樹木の植栽。②町民の安心・安全、財産・生命を守っていくということで防災対策、いろんな所管課がありま

すが、縦割りを廃して町長のリーダーシップできちんと検討されているのか。

答 (町長) 道路や公園の環境整備をする際は、当然安全性を第一に考え災害につながないように設計、定められた基準をもとに整備を進めている。町民の安心、安全、財産、生命を守るといふ観点では色々な課で横の連携で取り組んでいる。

問 観光面でのメインストリートですが、ブロックの崩れ等災害にも決して安全ではない。景観上もよくない。そこで木材を使い堀等提供できないか。町で補助金をだせないか。

答 (町長) 地域の方々のご協力いただきたい。

農林業の再生と 働く場所について

問 ①耕作放棄地の所有者の方々の今後の意向はどのように考えているか。②新規就農者は耕作地を安価な賃貸料で借り受けられるような制度を創設すべきではないかと考えるが。③本格的な林業という

ような形でなくても、境界管理であるとか、そういった山の管理をするというようなことも、十分今後の仕事になつていくと考えるが。

答 (経済課長) 土地の貸し借りについては、農地法及び経営基盤強化法で行っている。補助事業等により間伐の実施や造林の維持管理を支援し、治水、水源確保等多面的な支援を促進する必要がある。国の雇用対策事業を活用して新規雇用6名の創出を行っている。

問 合併特例債や過疎債等有利な財源を充当することも今後必要と考える。ハード面の施設整備も重要であるが、集落再生のために研究していたきたい。

答 (町長) ネットを通じ何かいい事例を企画等にそうした意識、意欲を持つてもらおうよう指導したい。

問 和水町というまちをどうしていくか、グランドデザインといいますが、研究・検討されていると思うが、今後どのような施策をされるのか伺う。

①若者の家庭では夫婦共働きで自動車ガソリン代など生活にかかる経費は市街地で居住するより町での生活費がふえていると聞く。その現状分析は。②コンサルタントの導入の計画は。

答 (総務課長) 新幹線的全線開業を機に、観光によるまちづくりや企業誘致、地場産業の支援を今後とも推進していきたい。コンサルタントについては、必要時は導入して民間の意見も入れたい。

建物の 維持管理について

問 適切な維持管理計画がなければ本来の建物の寿命を全うさせることはなかなか難しいものがある。維持管理計画の作成時期及び予算について伺う。

答 (総務課長) 耐震改修促進計画業務を消防費で予定している。24年度から町有財産の維持管理計画を練り上げていくよう計画している。町営住宅については長寿命化計画が策定されている。